



現千葉県議会 副議長



岡村 やすあき

環境 1 豊かな環境保全

自然との共生のなかで、豊かな自然環境を次世代に残すように努めます。

進行する地球温暖化と 増え続ける排出廃棄物

地球温暖化は、生物の生存基盤を脅かしたり、健康被害の拡大などをもたらしたりしています。その大きな原因である温室ガス（二酸化炭素・メタン等）を削減しなければなりません。

本県の二〇〇六年の二酸化炭素排出量は、十五年前に比べて、8.6%も増加しています。民生部門では、業務系及び家庭系の二酸化炭素の排出量の増加率が、それぞれ 74.0%・36.3%と、全国平均の 39.7%・30.5%を上回っています。（県総合計画参照）

また、本県の廃棄物処理の現状を見ると、一般廃棄物では、依然として県民一人一日当たり一〇八〇グラムの多量のごみが排出されています。産業廃棄物の不法投棄はピーク時にくらべ八十分の一まで減少しましたが、小規模でゲリラ的な不法投棄は後を絶ちません。

私は現状を踏まえ下記の環境施策を推進いたします。



良好な大気・水環境と 生物多様性の保全

二酸化炭素を主とした温室ガス排出量の削減のため、温暖化防止計画の策定や中小企業に対する環境保全資金融資の拡充、家庭向け普及啓発の実施、県民や団体が取り組んでいる環境学習活動等の実現と推進に取り組みます。

生物多様性と生態系を保全すると共に、希少な野生生物の保護と外来生物による農作物等の被害対策を進めます。さらに、良好な大気・水環境を保全するため、環境を汚染する物質の排出量を削減するための取り組みを推進します。

産業廃棄物を放置していますと、メタンガスの発生や地下水汚染等の有害物質の汚染問題が発生します。また、時間が経過しますと、廃棄物が判別できなくなります。

投棄廃棄物を撤去するにしても、千葉県や自治体等の厳しい財政状況では困難なことです。県内の不法廃棄物の撤去には、国のレベルでの財政援助を求める必要があります。

環境に関する重点目標

- ・豊かな自然環境の保全と、良好な大気環境・水資源の確保に努めます。
- ・資源循環型社会の構築をめざした施策（ごみを減らす、繰り返し使う、再生利用する等）を推進し、その実現に努めます。
- ・豊かな生物多様性と健全な生態系を次世代に引き継ぐため、生物多様性の保全を推進します。
- ・二酸化炭素を主とした温室効果ガス排出量の更なる削減に向けて取り組み、地球温暖化の防止に努めます。
- ・産業廃棄物の不法投棄を根絶し、投棄された廃棄物の適正処理の推進に努めます。

